

2級 実技(論述)試験 解答用紙

No. 001	Aグループ	年月日	令和4年5月22日(日)
---------	-------	-----	--------------

「逐語記録」を読み、以下の問いに答えなさい。

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

キャリアセンター主催の就職ガイダンスで自己分析を行ったところ、自分には強みがなく、このままではろくな就職活動ができずに、せいぜい中小企業にしか入れないと不安になった。また、卒業を遅らせて専門性を身につけて就職するのか、それともそのまま就職するのか悩んでいる。そして、方向性を早く決めたいと思い、恩師や両親に相談してみたが、異なる意見のため、八方ふさがりになってしまった。結果、どうすればよいのか分からなくなっているのが、相談者が相談したい問題である。

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

(1) 自己分析を行った後、「自分には強みってないな」「このままだと大手企業からは内定はもらえない」「せいぜい中小企業にしか入れないだろうな」という発言から、自分の強みやスキルが明確に出来ていない。そのことから、自己理解不足と自己効力感の低下が見受けられる。(2) 就職先を企業規模でしか判断しておらず、業界・職種などの情報収集不足があると思われる。(3) 友人・先生・両親の意見に左右され、影響を受けており、就職活動を主体的に考えられなくなっていると思われる。

問題3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか。目標と具体的な方策を記述せよ。(60点)

①(目標) (1) 自己理解を促進し、自分のやりたい仕事や自身の強みなどを見出し、自信を持って就職活動ができるようになること。(2) 主体的に企業の情報を収集し、満足のいく就職活動を行う。

(3) 中長期的なキャリア・プランを考えられるようになること。以上の3点を目標とする。

②(方策) (1) 相談者が現在抱えている不安な気持ちを受け止め、就職について考え始めたことを承認し、信頼関係を築いていく。(2) キャリアインサイトやジョブ・カードを用いて強みやスキルを可視化する。(3) 今までのアルバイト経験や得意なこと、楽しいと感じたことについて改めて確認する。

(4) 本人の同意を得て、日本版O-NET、職業興味検査を行い、興味・価値観などを明確にする。(5) 大企業、中小企業以外のカテゴリ分けについて一緒に調査する。(6) 興味のある業界、職種について、インターネットやキャリアセンターで情報収集していただく。(7) インターンシップに参加し、自分の求めている仕事や企業とのマッチングを図っていただく。(8) 企業が求める人材について、専門性が本当に必要なのかをOB・OGからヒアリングしていただく。(9) 5、10年後のキャリアについて一緒に考えていく。以上を方策として前向きな就職活動ができるよう支援していく。

注：解答は質問ごとに、枠内に記述してください。裏面および枠外に記述されたものは採点されません。
2級実技(論述) 解答用紙 1.1